

令和8年5月21日
国立大学法人筑波大学

学生×地域×企業がつながる施設
「未来社会デザイン棟」開所式、見学会のご案内
～学生が中心となって運営する新たな共創拠点～

筑波大学では、学生が地域社会や企業と日常的に交流できる新たな拠点「未来社会デザイン棟」の全面供用開始を記念して令和8年5月30日に開所式を開催いたします。
本施設は、学生が中心となって運営する新たな共創拠点として整備しており、施設の1.2階は多用途対応のイベントホールや施設全体の2/3をオープンスペースで構成することにより学生・企業・地域の皆様が、老若男女を問わず様々な属性の人々が自由な発想で利用し交流することができる、筑波大学の建学理念の「開かれた大学」であることを象徴する施設となっています。また、3階には企業が入居できる共同研究スペースを設け、学生にとっては、企業の担当者と直接コミュニケーションを取りながら、学生自身の研究や将来のキャリアについて考えるヒントを得られ、企業側にとっても、若い世代の柔軟な発想や価値観に触れ、新しい事業や研究に反映することができる空間となっております。さらにシェアオフィスや会議室など、これまでにない大学内外と人々と協働できる、新たなハブ施設となることを目指しています

【未来社会デザイン棟の特徴】

床面積5,270平方メートル、3階建ての施設には300人収容のイベントホールのほか、1階の大階段、コミュニケーションスペースや2階のグループワーク・ソロワークスペースといったオープンスペースを中心に構成し、最大100インチのディスプレイ等の機器を各所に配置し、発表会や企業のイベント、フリーマーケットなど多用途な利用が可能です。また、クリエイションスペースには3Dプリンタ等による創作活動を支援し、フィットネススペースには運動不足解消のためエアロバイク等の運動機器を設けるなどしています。



【開所式の日時等】

- 日時 令和8年5月30日(土)10:00～11:00
- 場所 筑波大学未来社会デザイン棟大階段(1階)
- 出席者 筑波大学
永田 恭介 学長
千葉 親文 副学長
石井 誠 企画運営委員会事業推進チーム長(博士課程前期1年)
つくば市
五十嵐立青 市長 ほか、ご来賓の皆様

【問い合わせ先】
筑波大学 学生部 プロジェクト推進担当

筑波大学 *Future Society Design Complex* 未来社会デザイン棟



2026年3月運用開始

筑波大学では、現在、1973年の開学以来学生の生活基盤の一つとして活用されてきた学生宿舎のリニューアル計画を進めています。今回の計画では、単なる居住者の生活の場としての活用に留まらず、**学びの場及び地域社会等とのエンゲージメントを高める場**とするとともに、社会性・主体性を身に付けて**地球規模課題を解決し、未来を創り出す人材を育成し、開学理念の「開かれた大学」の更なる発展**を目指しています。その中心的な役割を担う学生宿舎エリアのシンボリックな建物として「**未来社会デザイン棟**」を同学生宿舎エリアに整備しました。

What is "Future Society Design Complex" ?

未来社会デザイン棟とは、何か

学生の主体性・社会性を育成する**人材育成の場**

学生同士はもちろん、地域社会や企業などの**様々な人々が交流する場**

あらゆる意味において、筑波大学の建学理念の「**開かれた大学**」であることを象徴する**施設**



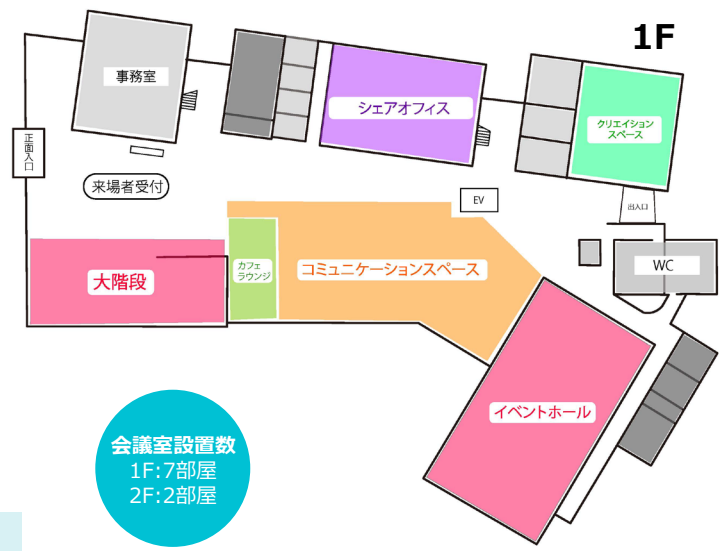
筑波大生の活動を中心にさまざまなステークホルダーが関わり
学生の発想・理想を発出する未来社会創造拠点

Crossing Values, Emerging New !

Floor Map フロアマップ



内観イメージパース



会議室設置数
1F:7部屋
2F:2部屋

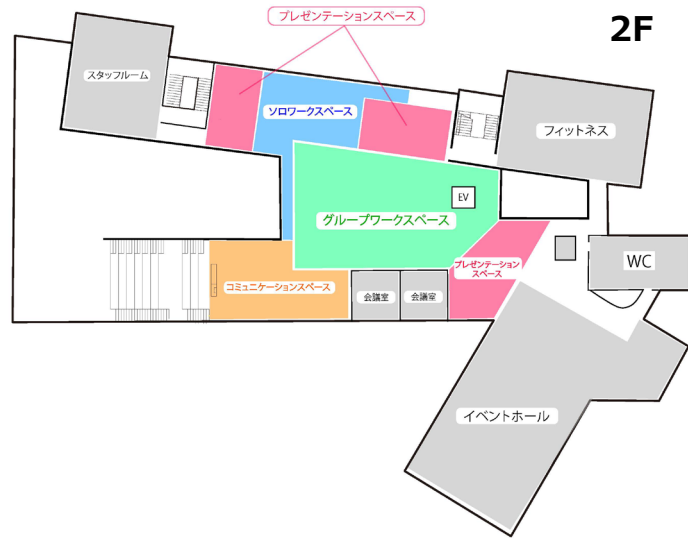
1F シェアオフィス
学生との連携を希望する企業のシェアオフィス。

クリエイションスペース
常設されている機器で発想の具体化・製作のサポートをするスペース。

大階段
スクリーンと階段を模した客席を利用して、フルオープンなイベントを実施可能。

コミュニケーションスペース
広々とした対話スペースで、ゆったりコミュニケーションをとることができるエリア。スペースを空けて簡易的なホールとしても利用可能。

イベントホール
300名を収容できる最大の区画。座席の出し入れが可能であるため、用途に応じて会場設営が可能。

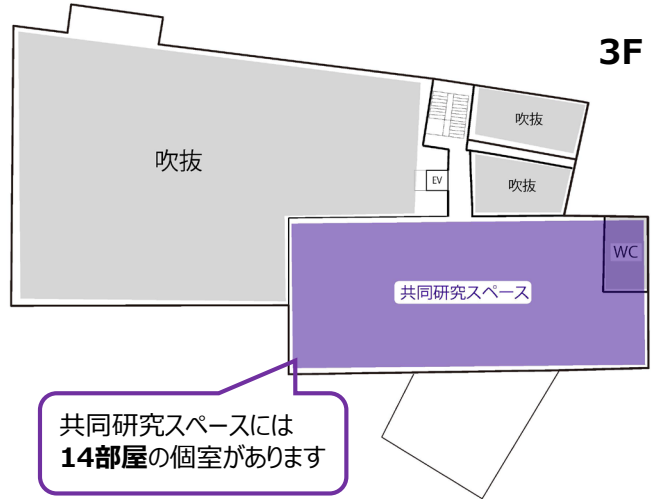


2F プレゼンテーションスペース
椅子を展開して5人～50人の小規模から大規模のセミナー・講義が可能なスペース。

ソロワークスペース
自由に自主学習が可能なスペース。

グループワークスペース
可動式の什器を組み合わせ、グループワークを促進。壁・机に書き込んで発散が可能なアウトプットスペース。

コミュニケーションスペース
ツールが豊富な対話スペース。イベントや企業・団体の告知情報を集積し、未来社会デザイン棟の「活動の窓口」に。



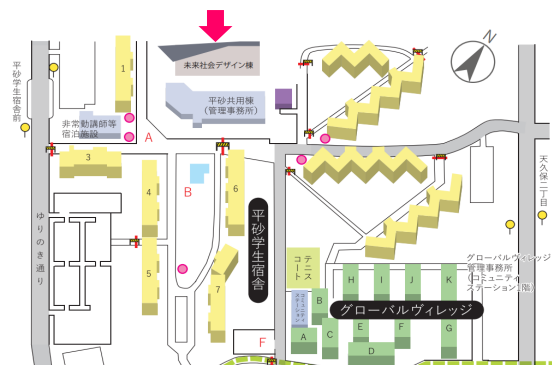
共同研究スペースには
14部屋の個室があります

3F 共同研究スペース
共同研究企業、大学発ベンチャー企業の研究室や学生との連携を希望する企業のスペース。企業が占有利用可能（1部屋 約49㎡）。

Access アクセス

〒305-0005 茨城県つくば市天久保2-1

- つくばエクスプレス線「つくば駅」下車
- バス 約10分
- 関東鉄道バス「平砂学生宿舎前」または「天久保二丁目」バス停下車 徒歩 約5分
- 車 約10分
- 徒歩 約30分



Contact ご連絡先

筑波大学 学生部 プロジェクト推進担当
E-mail:mirai_syakai.d1@un.tsukuba.ac.jp

●本資料の内容は、将来の見通し、事業計画等に関する情報が含まれています。その内容は、作成時点のものであり、情報の正確性および完全性を保証するものではなく、今後、予告なしに内容を変更する場合があります。●当該情報の誤りや第三者による改ざん等によって生じた損害等に関し、本学は一切の責任を負うものではありませんのでご了承ください。